

2014年度末(2015.3.31)経済的理由による中退・学費滞納調査結果 マスコミも注目!!! 第2弾

6月10日13:30~文部科学省記者会にて、全国の280校の私学の尽力が結集した「2014年度末経済的理由による中退・学費滞納調査」の結果を記者会見の形で発表しました。先日の報道に続き、14日の日経新聞、18日の読売新聞教育欄にも掲載されました。

経済的理由で中退 微増

私立高で、景気回復及ばず

経済的な理由で2014年度に私立高校を中退した生徒は1校当たり0・36人だったことが全国私立学校教職員組合連合(全国私教連、東京)の調査で13日までに分かった。1998年度の調査開始以降、過去最少だった前年度の0・28人から微増した。

調査は全国私教連加盟の教職員組合がある私立高を中心に実施。28道府県の280校(全私立高の21・7%)から回答があった。在籍する24万2432人のうち、経済

的な理由で中退したのは42校の101人だった。1校当たりの中退者が過去最多だったのは、07年度の1・74人。14年度末時点で、3カ月以上授業料を滞納した校の232人だった。また進級または卒業した生徒は1校当たり2・71人で、前年度より0・02人増だった。また、経済的な理由で修学旅行に参加できなかったのは、67校の232人だった。

6/14付 日本経済新聞

私立高校の学費滞納 過去最低に

経済的な理由で学費を3か月以上滞納している私立高校生の割合が、全国私立学校教職員組合連合(全国私教連)の今年3月末時点の調査で0・31%と、1998年度の調査開始以来最低だったことがわかった。

全国の全日制私立高校の約2割にあたる280校(生徒数24

6/18付 読売新聞教育欄

